

平成 28 年度

自己評価委員会・学校関係者評価委員会 報告書

学校法人 実教学園

F・C フチガミ医療福祉専門学校

2017年7月26日

平成28年度 自己評価委員会・学校関係者評価委員会 報告書

学校法人実教学園 F・C フチガミ医療福祉専門学校は、平成28年度の自己点検・自己評価を行い、自己評価委員会を実施、本校規定に基づいて学校関係者評価委員会を開催し報告書をまとめましたのでここに公表いたします。

学校関係者評価委員会からの意見を真摯に受け止め、教育力のさらなる向上、より良い学校運営を目指して教員一同努力してまいります。

今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ **実施日時** 2017年7月1日（土） 10:00 ～ 11:30 本校204教室

■ **参加者**

➤ 学校関係者 外部委員

◇ [企業・団体等関係者]

- 戸次 弼子 日本診療情報管理学会 評議員
- 田尻 小夜子 広瀬病院 統括部長
- 石田 圭子 高宮くすくすの丘保育園 主任保育士

◇ [教育に関し知見を有する者]

- 岸川 公紀 中村学園大学短期大学部 准教授

◇ [卒業生代表]

- 長島 永青 浜の町病院 情報管理課 診療情報管理室 診療情報管理士

➤ 学校教職員

- 吉田 登志子 学校長
- 天野 裕二 事務長
- 吉田 悟志 企画広報室 課長
- 蓮井 栄二 教務課 課長、学校関係者評価委員会担当

■ 学校関係者評価委員会 評価結果

各評価項目に関して 28 年度の課題・改善方策を検討し、学校関係者評価委員会の意見をうかがいながら改善に取り組み、一定の改善が認められた。(一部、評価減を含む)

自己評価委員会において 28 年度の達成状況を確認、29 年度の課題を検討、学校関係者評価委員会の意見をうかがいながらその課題に関して今年度の改善方策をまとめた。なお、自己評価委員会が評価をまとめるにあたり、全教職員対象に同評価項目に関しての達成状況のアンケートを行い、評価の参考としている。

1. 教育理念・教育目標

| 評価項目 | 評価 |
|------------------------------|---------|
| ①教育理念・教育目標は、定められているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②教育理念・教育目標は、社会のニーズにあっているのか。 | ④ 3 2 1 |
| ③教育理念・教育目標は、学生・保護者に周知されているか。 | 4 ③ 2 1 |

< 28 年度達成状況 >

評価に変更なし

< 29 年度改善方策 >

教育理念の周知を行うため、職員会議での理念の説明、学校内（教室内）掲示方法の検討・実施する。

< 学校関係者委員会より >

③について、学校では努力されているが、なかなか見えにくいところだと思う。視覚的に受け入れやすいよう掲示の方法を検討されると良いと思う。

2. 学校運営

| 評価項目 | 評価 |
|---|---------|
| ①学校の教育目標に沿った事業計画が策定されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ③運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されており、有効に機能しているか。 | ④ 3 2 1 |
| ④人事・給与等に関する規則等は整備されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑤業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか。 | 4 ③ 2 1 |
| ⑥教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。 | 4 ③ 2 1 |
| ⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | ④ 3 2 1 |

<28年度達成状況>

③ 3 → 4

運営組織や意思決定機能および教務・財務等の組織整備など組織が適切に機能するよう、組織の見直しを行った。

⑦ 3 → 4

ホームページの内容の充実を図り、こどもみらい科、養成科の教育活動に関する情報の掲載を検討し十分であると判断した。

⑧ 3 → 4

朝礼での情報をメールで連絡する等、情報伝達の方法を改善。

<29年度改善方策>

新体制に移った後、組織、特に教務等の意思決定システムが適切に機能しているか確認していく。

<学校関係者委員会より>

特になし

3. 教育活動

| 評価項目 | 評価 |
|---|---------|
| ①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | ④ 3 2 1 |
| ③学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体等の連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑥キャリア教育・実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が行われているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑦授業評価の実施・評価体制はあるか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | 4 ③ 2 1 |
| ⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑩資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑪人材育成目標の達成に向け、授業を行うことが出来る要件を整えた教員を確保しているか。 | ④ 3 2 1 |

| 評価項目 | 評価 |
|--|---------|
| ⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑬関連分野における先端的な知識等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組がなされているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑭職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか。 | ④ 3 2 1 |

<28年度達成状況>

⑦ 3 → 4

改善した内容で授業評価を実施、学生へのアンケートの集計結果の分析を行い、分析内容をもとに授業の質の向上に役立てるように研究している。

⑧ 4 → 3

教員のパソコン環境について、ソフトウェアが古く、現状に合っていないものが多く、更新の検討が必要。

<29年度改善方策>

- ・現場実習の実施に際し、実習前に学生・実習指導者、学校教員による三者協議会を開催し、効果的な実習の在り方と実習生の意識向上を目指す。

- ・教員相互の授業見学を実施し、教育の質の向上を図る。

- ・教員のパソコン環境の更新を検討する。

<学校関係者委員会より>

- ・授業見学に関して、大学での状況を話していただき、今後の方向性や方法などの参考にさせていただいた。

- ・授業評価のアンケートの実施についても大学での事例を紹介いただき、今後の実施方法などの参考にさせていただいた。

4. 学修成果

| 評価項目 | 評価 |
|--|---------|
| ①就職率の向上が図られているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②資格取得率の向上が図られているか。 | ④ 3 2 1 |
| ③退学率の低減が図られているか。 | ④ 3 2 1 |
| ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑤卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか。 | ④ 3 2 1 |

<28年度達成状況>

② 3 → 4

検定の取得率はおおむね上昇している。

診療情報管理士の合格率：90.0% → 91.7% (11/12人)

※学校関係者より、合格率は、全国平均を遥かに上回る、90%越えの高水準であり、目標は「100%の達成」ではあるが、評価は4に値するとの意見があり、4に変更した。

③ 3 → 4

退学率は下がっているとは言えないが、担任以外の教員も含めた連携により、学生対応の体制は整ってきている。

<29年度改善方策>

検定の取得率の向上や退学率の低減については、非常勤講師も含め教職員が連携しサポートする体制を強化していく。

<学校関係者委員会より>

特になし

5. 学生支援

| 評価項目 | 評価 |
|---|---------|
| ①就職に関する支援体制は整備されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②学生相談に関する体制は整備されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ④学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか。 | 4 ③ 2 1 |
| ⑥学生の生活環境への支援は行われているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑦保護者と適切に連携しているか。 | ④ 3 2 1 |
| ⑧卒業生への支援体制はあるか。 | 4 ③ 2 1 |
| ⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。 | 4 ③ 2 1 |
| ⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか。 | ④ 3 2 1 |

<28年度達成状況>

評価に変更なし

<29年度改善方策>

- ・学友会活動の活性化のためソフトバンクの試合の年間チケットを購入する。
- ・通信制の学生を含めた卒業後再受験者の支援と受験結果の把握、てらにし塾、国試対策の継続。

<学校関係者委員会より>

卒業生への支援として、卒業生の状況確認の必要性があるが、なかなか難しい面がある。

6. 教育環境

| 評価項目 | 評価 |
|---|---------|
| ①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②学内の実習施設・インターンシップ、海外研修の場等については十分な教育体制を整備しているか。* | ④ 3 2 1 |
| ③防災に対する体制は整備されているか。 | ④ 3 2 1 |

※ 海外研修については当校では現在検討していない

<28年度達成状況>

評価に変更なし

<29年度改善方策>

- ・4階教室の机交換の実施。新形式は一人用机とし、個別性の確保と、グループワークなどに対応し移動や会場設営の利便性を増す。
- ・電子カルテ PC 及び医事ソフト買い替え。
- ・304教室のプロジェクター天井設置。
- ・学生の火災避難訓練を実施する。

<学校関係者委員会より>

PC やソフトの導入において現在選定しているソフトがあるが、現場の環境は様々であり、理屈がわかっているならば対応可能な範囲であるので、必ずしも現場と同じものを導入する必要はなく、最新にこだわる必要もないと思われる。

7. 学生の受け入れ募集

| 評価項目 | 評価 |
|--|---------|
| ①高等学校等に対して情報提供等の取り組みが適切に行われているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②学生募集活動は、適切に行われているか。 | 4 ③ 2 1 |
| ③学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。 | ④ 3 2 1 |
| ④校納金は、妥当なものとなっているか。 | ④ 3 2 1 |

<28年度達成状況>

② 4 → 3

昨年度の募集は、専門課程、養成科ともにダウンとなり、前年度の目標達成ができなかった。昨年の課題から改善方策などは確実に実行していったが、マイナスの結果となった。

<29年度改善方策>

- ・ 新入生に対して、アンケートを取り、結果を分析して、募集に活かしていく。
- ・ 高校への情報提供や資格取得・就職状況などの情報提供を強化していく。
- ・ 校納金（学費）について検討していく。

<学校関係者委員会より>

特になし

8. 財務

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------|---------|
| ①中長期的に学校の財務基盤は、安定しているといえるか。 | ④ 3 2 1 |
| ②予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか。 | ④ 3 2 1 |
| ③財務について会計監査が適正に行われているか。 | ④ 3 2 1 |
| ④財務情報公開の体制は、準備はできているか。 | ④ 3 2 1 |

<28年度達成状況>

評価に変更なし

<29年度改善方策>

消費税増税に伴い増加した費用分の授業料への転嫁を引き続き検討していく。

<学校関係者委員会より>

他大学での財務情報の公開の方法などをご紹介いただき、参考にさせていただく。

9. 法令等の遵守

| 評価項目 | 評価 |
|---------------------------------|---------|
| ①法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 | 4 ③ 2 1 |
| ③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。 | ④ 3 2 1 |
| ④自己評価結果を公表しているか。 | ④ 3 2 1 |

<28年度達成状況>

評価に変更なし

<29年度改善方策>

個人情報の保護に関する内部監査制度の検討ならびに定期的な啓発運動を実施していく。

<学校関係者委員会より>

学生の個人情報に関連して、職員の緊急連絡先として個人情報も適切に管理し連絡できる体制を準備した方が良い。

10. 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | 評価 |
|--|---------|
| ①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。 | ④ 3 2 1 |
| ②学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。 | ④ 3 2 1 |
| ③地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか。 | 4 ③ 2 1 |

<28年度達成状況>

① 3 → 4

精神保健福祉士協会に教室を貸出、浄水通くすくすナーサリー（地域型小規模保育事業）開設、出前講座の実施。

② 3 → 4

学生に合ったボランティアを紹介した。

<29年度改善方策>

学生に合ったボランティアを紹介するなどボランティア活動の充実。

<学校関係者委員会より>

特になし